



図書館の役割 -私のかかわりから

医療人育成センター生物学
教授 佐々木泰史

私は1982年（昭和57年）に札幌医科大学に入学しました。当時、附属病院と衛生短期大学部（後の保健医療学部）は建設中で、大学と附属病院の間は現在の「らてす」ではなく市道が通っており、現在とは随分と異なる雰囲気でした。衛生短期大学部は翌年に開学し、附属病院と臨床教育研究棟は1986年にフルオープンとなりました。その後もキャンパス整備は継続され、1999年には現在の医学部基礎医学研究棟、2022年には教育研究棟が完成し、新キャンパスが落成しました。結果として、私の入学時からある建物はすべて入れ替わることになりました。当時の図書館は、現在の基礎医学研究棟の場所にあった、一部レンガ造りの旧基礎医学棟の奥まった一角にありました。講義室からは、迷路のような狭い通路を通るか、一度外に出て中庭を横切る必要があり、同じ大学内でありながら、心理的にも物理的にも遠い存在に感じられました。そのためか、講義室近くの進学ロビー（通称「進口ビ」）の横に設けられていた図書館分館で、勉強や読書をする学生も多く見られました。卒業アルバムを見返すと、図書館の職員は19名を数え、大きな役割を担っていたことがうかがえます（ちなみに当時の学務課職員は14名でした）。ここまでは私が2020年に執筆したBarks第23号とほぼ同じ内容ですが、本学の図書館はその後、時代の変化とともに役割を変えてきました。



1990年代、インターネットが普及する以前、図書館は「情報そのものが集まる場所」でした。限られた蔵書を学生や教員が順番に利用し、必要な教科書や専門書が貸出中で手に入らないことも珍しくありませんでした。文献検索も、分厚い索引冊子を一枚一枚めくりながら行う作業であり、調べること自体に相当な時間と労力を要しました。やがて文献検索は電子化され、一定の周期で更新されるデータベースが導入されるようになり、検索効率は飛躍的に向上しましたが、情報にアクセスする拠点としての図書館の重要性は、依然として揺るぎないものでした。その後、インターネットの普及により状況は大きく変わります。文献検索はリアルタイムで可能となり、学術雑誌や専門書は次々と電子化され、オンラインジャーナルが教育・研究の基盤となりました。図書館は「情報を保管する場」から、「質の高い情報へのアクセスを支える場」へと、その役割を進化させてきたと言えるでしょう。本学では、充実したオンラインジャーナル契約により、学内外から多くの学術情報に迅速にアクセスできる環境が整っています。加えて、他機関の所蔵資料を迅速に入手できるRapidILLは、研究・教育を支える極めて有用なサービスであり、本学図書館の大きな強みの一つと感じています。これらの環境は、教員・学生双方にとって、研究と学修の質を高める大きな力となっています。

ICT環境が高度化した現在においても、膨大な情報の中から信頼できる知を選び取り、適切に活用する力が、これまで以上に求められる時代でもあります。これからの札幌医科大学図書館は、単なる「情報への入口」ととどまらず、学びと研究を支える知のパートナーとして、その役割をさらに深化させていく存在であり続けるのではないのでしょうか。

図書館があった旧基礎医学棟
(1988年卒業アルバムから)

卒業・修了・
退職予定の
皆さまへ

図書館利用に関わるお手続きについて

今春、卒業・修了・退職を迎える皆さまにおかれましては、現在お持ちの学生証・IC職員証・図書館利用カードが利用できなくなります。
引き続き図書館の利用を希望される方は、以下の手続き方法をご確認のうえ各電子申請窓口より申請してください。

Step.1 現在の身分と有効期限、
新利用者カード取得に必要な手続きを確認[下図参照]

Step.2 電子申請窓口
より随時申請

現在の身分		現在の利用者カードの取扱い (学生証/職員証/IDカード)		4月以降の身分	図書館利用申請 (学内者)
		返却期限	入退館		
卒業生	医学部	令和8年 3月19日(木)迄	令和8年 3月31日(火)迄	研修医 ※1	[学生証または IC職員証※2有]  申請不要 学生証またはIC職員 証をお使いください。
	保健医療学部			学外勤務	
修了生	大学院 専攻科	●上記期限以降 に資料の貸出を 希望する場合は、 通常開館時に図 書館2階カウン ターへお申し出 ください。 特別貸出で対応 いたします。		学内勤務	[IC職員証無]  [IC職員証有、特別開館 時間の利用希望] 
				学外勤務	
				研究生	
				大学院/専攻科	
教職員	職員番号有 (IC職員証有)	令和8年 3月31日(火)迄	令和8年 3月31日(火)迄	(職員番号の変更を伴う) 学内の所属、 身分変更	図書館利用申請 (卒業生・元教職員)  ※4
	職員番号無 (IC職員証無)			学外勤務	
				本学卒業生	
				学外勤務 (医療資格有)	

- ※1 学内勤務者に限る
- ※2 人事係から交付される「IC職員証」で図書館が利用可能。ただし、IC職員証が交付されない(職員番号無)または特別開館(20時15分～翌9時00分および土日祝)に利用希望の場合は、要電子申請。
- ※3 図書館2階カウンターで引渡し。
- ※4 申請時に提出する身分証明書は、3月中の申請に限り、学生証または職員証をご使用いただけます。

●新年度より学内勤務となる方は、IC職員証の交付(人事係対応)をお待ちください。
●受けられる図書館サービスは、学内者/卒業生・本学元教職員/学外者で異なります。詳しくは図書館HPをご確認ください。【図書館HP>利用案内 <https://hamanasu.sapmed.ac.jp/library/services>】

学術論文のオープンアクセス化を支援！ 転換契約 活用ガイド

What is 転換契約？

札幌医科大学では「札幌医科大学オープンアクセスポリシー」に基づき、本学の研究成果を世界へ発信するためのオープンサイエンス推進に取り組んでいます。

その一環として、図書館が出版社と「転換契約（Read & Publish契約）」を結び、論文掲載料（APC）を大学が負担する制度を運用しています。令和8年からの支援内容について、重要なポイントをご紹介します。

オープンアクセスは
通称「OA」と言われます！



OA加速化くん



OA出版枠を使って、APCを全額免除！

本学に付与されたOA出版枠が残っており、条件を満たしている場合、著者の自己負担なしで論文をオープンアクセスとして出版することができます。

手続きは、Author Serviceから「機関OA」を選択するだけです。

条件とルール

- 対象者
在学・在職時の研究成果に基づく論文の責任著者
(Corresponding Author / Responsible Corresponding Author)
- 対象ジャーナル
ハイブリットジャーナル（個別タイトルは各サイト参照）
- 対象論文
本学に帰属する研究成果である「原著論文」及び「総説（レビュー）」

1-9月：責任著者1件
10月以降：無制限

先着順。出版社によりOA出版枠の数が異なります。



転換契約対象出版社（R8年1月時点）

Wiley

- 年間OA出版枠14件
- 15本目以降は
APCが5%割引

Taylor & Francis

- 年間OA出版枠2件

転換契約対象外の出版社・論文に利用できる
大学独自のAPC一部支援制度についても計画
中！（R8年4月より）

準備が整い次第、大学ポータル
「研究者Gateway」にてお知らせします。

研究は
研究者Gateway



退職、修了される方必見！！ SAINS アカウント継続利用申請について

退職や修了により学内身分を失った後も SAINS アカウントを利用するには、事前に**継続利用申請**を行う必要があります。

申請により継続利用が認められたアカウントは、**毎年更新が必要**となりますのでご注意ください（本年度の申請では 2027 年 7 月 31 日まで利用可能です）。

申請方法など詳細はホームページをご覧くださいが必要ありますが、おおよそ以下の内容です。

- 学内者の身分を失った方が SAINS アカウントを継続するためには継続利用申請が必要
- 継続利用申請は毎年更新
- 2019 年 6 月以降にパスワードを変更していない場合はパスワード変更が必須
- 利用できるのは電子メールサービスのみ

※継続利用申請を行わない場合、学内身分を失った日より 2 ヶ月でアカウントが抹消されます。詳細については下記ホームページをご覧ください。

ホームページ 退職・修了後（学外者）の継続利用

<https://web.sapmed.ac.jp/jp/dk8s260000000nz4.html>



総務・システム係 Email: iccci@sapmed.ac.jp

◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	24240	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス（カウンター）
文献複写依頼に関すること	24250	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス（カウンター）
図書・雑誌に関すること	24230	book@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関すること	24160	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メールアドレス、LAN への機器接続に関すること	22390	iccci@sapmed.ac.jp	総務・システム係
図書館へのご意見・ご要望に関すること	24170	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス

パークス
Barks

Sapporo Medical University
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL 011-611-2111(代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/> E-mail libserv@sapmed.ac.jp
<https://hamanasu.sapmed.ac.jp/library/>